



岡山県原水協通信

2017年 3月24日 No.396
原水爆禁止岡山県協議会
700-0981 岡山市北区西島町 4-25
TEL086-244-4526(F)805-6172
kenmin@po5.oninet.ne.jp

核兵器禁止 「交渉会議参加と、条約実現に努力を」の請願

笠岡、井原、浅口、奈義、早島、和気、久米南、里庄、吉備中央、総社の各議会で意見書採択

「継続審査」は備前、玉野、津山の各市議会
倉敷、高梁、新見、瀬戸内、矢掛の市・町議会は否決

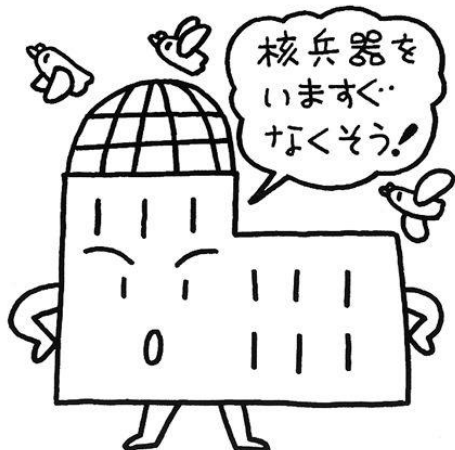
県原水協は3月27日から国連で始まる核兵器禁止条約交渉会議に向け、県内の地方議会から、政府に対して交渉参加と、被爆国にふさわしく条約実現に向けて努力を求める意見書採択運動に取り組みました。

県内27市町村の3月議会が始まる2月下旬から請願を開始し、2月下旬まで開かれた議会で笠岡、井原、浅口（陳情）の各市議会と奈義、早島、和気、久米南、里庄、吉備中央の各町議会で採択。総社市は趣旨採択となりました。

今回の請願で笠岡、井原、高梁、新見、倉敷、総社の各市議会で請願者の意見陳述を行い、倉敷では水島原水協の禰屋氏が請願者陳述を、総社市では岡山被爆2世・3世の会代表の加百智津子さんが請願者陳述を行いました。

県内全てが平和首長会議に加盟していること、請願したすべての自治体の首長、議長が「ヒバクシャ国際署名」に賛同していることなど採択を訴えました。

請願者陳述の中で反対の立場で発言する議員は「アメリカの核の傘の下で日本の平和が保たれている」「非核3原則があるからいい」「国の専決事項だ」「政府の苦渋の判断を尊重」など被爆者、国民の願いに背を向け、首長・議長の意向を無視する態度に終始しました。



未提出の10議会は、議員改選時期と重なったり紹介議員が確保できなかったところでした。

久米南町議会の意見書（部分）

核兵器廃絶は人類の生存に関わる緊急・死活の課題であり、・・・人類で唯一国民が被爆の体験を持つ国の政府としても当然、日本政府が支持し、積極的に推進すべきものです。日本政府は、核兵器全面禁止に背を向ける態度をただちに改め交渉会議に参加し、核兵器禁止のために真剣な努力を行うよう求めます。

2017年3月17日 久米南町議会議長 杉本泰治
（提出先） 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、外務大臣